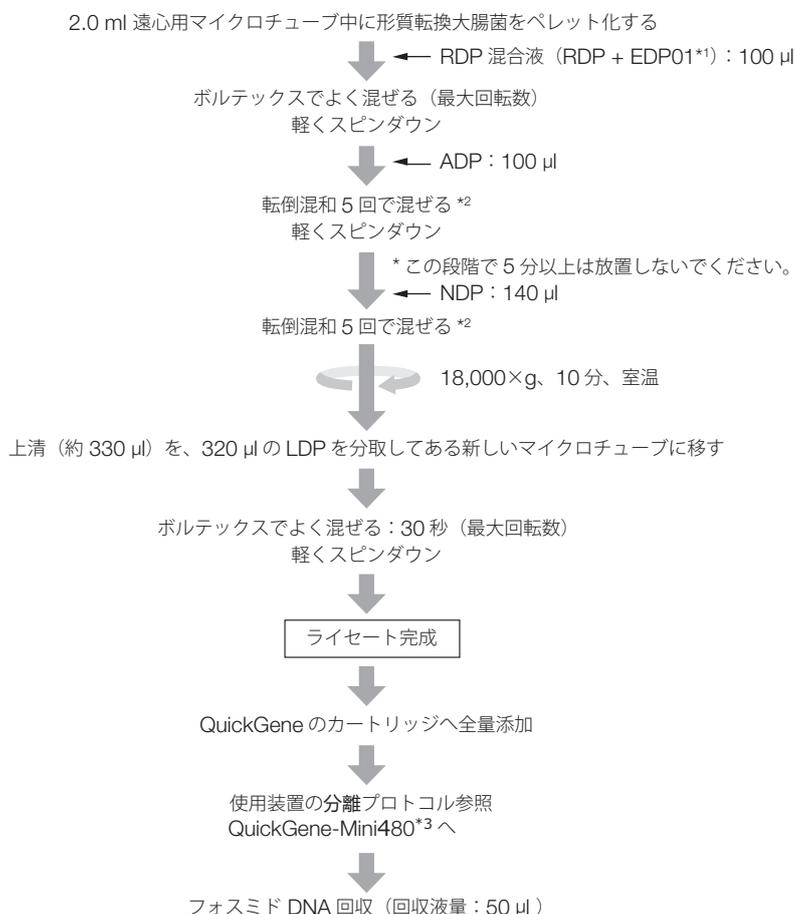


大腸菌からの fosmid DNA 分離

プロトコル



*1 EDP-01 全量を RDP ボトルに添加。

*2 ADP または NDP 添加直後、チューブを転倒して混ぜてください。
溶液は、チューブを穏やかに 5 回転倒することで混ぜなければなりません。溶液をボルテックスすると、染色体 DNA が分離されます。もしチューブを振ると、多くのゲノム DNA がプラスミド DNA と共に分離されます。しかし、この時の混和が不十分だと収量が減ります。

*3 本事例は旧機種で取得したデータも含まれます。
その他 QuickGene シリーズでもこのプロトコルをご参考頂けます。

結果

- 電気泳動図
データなし
- フォスミド DNA の収量
データなし
- タンパク質の混入 : A260/280
データなし
- カオトロピック塩の混入 : A260/230
データなし
- その他
データなし

共通プロトコルサンプル

プラスミド